

どうぞよろしく

今年度、5名の先生方を迎えてスタートしました。
どうぞよろしくお祈りします。

◇平井 覚校長先生

鳥取大学地域学部教授で専門は美術の分野の中の視覚伝達デザインです。特に色彩構成を研究しています。



◇魚崎 裕子先生

図書館を担当します。みなさんにおもしろい本をいっぱい見つけてもらえるようにがんばります。



◇池内さよ子先生

学校事務を担当します。みなさんと一緒に毎日を明るく楽しく過ごしたいと思っています。



◇村上 弘樹先生

一日一日を大切に、子どもたちと共に自分自身も成長していきたいと思っています。



◇中西 一月先生

算数のTTと4年体育を担当します。子どもたちと一緒に明るく元気にがんばっていききたいと思っています。



【旅の学校～6年生】

4月24日から26日の3日間、山口、広島に行きました。今年は、萩市の松陰神社にも出かけ、幕末から明治にかけて力を尽くした志士たちについても学びました。予め幕末から明治、吉田松陰について学んでいた子どもたちにとって境内に移築された松下村塾の建物は関心が高く、窓から中をのぞき込んだり、ガイドさんに質問したりしていました。



広島での平和学習では、毎年お世話になっている緩急車雲助さんの「黒焦げの弁当箱」を聞きなが

ら、涙している子どもたちも多くいました。原爆の子の像へ鶴を奉納した後、班に分かれピースボランティアさんと原爆資料館見学や平和公園内の碑巡りをしました。ピースボランティアさんは年々被爆者の方が減っており、時の流れを感じるとともに、原爆の恐ろしさと平和の意味を伝えていくこと、風化させないことの重要性和必要性を改めて感じました。

宮島では残念ながら満潮時と重なり、厳島神社の鳥居の下に行くことはできませんでしたが、日本建築のすばらしさの一端を感じることができました。

直接見たり聞いたりしたことをもとに、さらに学習を深めていきたいと思っています。

【色別活動】



今年度より色別活動を「わくわく活動」と改めました。4月23日に初めてのわくわく対面式を行い、活動をスタートさせました。今年も水曜日の昼休憩に縦割り班で活動します。今は出会ったばかりのメンバーですし、高学年も、新しいリーダーとして動き始めたところです。先日は砂の学校もありましたが、今後さまざまな活動を通して、交流が深まっていけばと考えています。楽しく有意義な活動を期待しています。

【砂の学校】



雨のため延期になった今年度の砂の学校。5月7日、晴天のもと、行うことができました。鳥取砂丘に着き、きょうだい学年で手をつなぎ砂丘を歩いて横断。6年生と1年生は下のルート、3年生以上は馬の背を登り砂丘の自然を眺めながら、はり切って歩いていました。

赤、黄、緑の縦割りグループの対抗戦では、砂丘を走る中距離走、松ぼっくりをたくさん集める競争、砂もり競争や綱うばい競争ではどの色も力を合わせがんばりました。結果は、今年度は赤組が優勝しました。

お弁当の後も、6年生がリードしておにごっこなどを楽しみ、異学年交流が深まったようです。

はじめての一步

大野 桂

四月、わたしは「はじめての一步」を踏み出した。

教員になって十数年が経つが、そんなわたしに学級担任として子どもたちと過ごしてきた毎日とお別れすることになり、音楽専科の教員としてスタートすることになった。担任ではないという立場は、さみしいのではないかと思っていた。でも、それはすぐに間違っていた。ことに気づいた。音楽室で一年生から六年生までの子どもたちと出会うことができ、音楽を通して全校の子どもたちとつながることができた。これまで担当学年の教科や学級、つまり横の線では子どもたちを見ることはできなかった。今は横の線だけでなく、縦の線で学びをみとり、多くの子どもたちと共に学びを創りあげていくことができる。目の前にいる子どもたちの卒業までを見通して関わることができる。横の糸と縦の糸とで紡いでいくことができるものがたくさんあることを実感した。

気はもちょう。毎時間子どもたちと共に授業を、音楽を創る楽しさを味わいながら一杯過ごしたいと思う。はじめての一步は、新しい自分を見つけるチャンスでもあった。そんなチャンスを与えてくださったことに感謝したい。



